

# 代表質問

令和3年12月1日、代表質問を行いました。静岡市議会では、4人以上の議員が所属する会派は代表質問を行うことができます。代表質問では各会派の政策理念などが表明されます。これまでは2月定例会と市長の所信表明が行われる定例会で行うことになっていましたが、各会派の意見を市民に表明する機会を増やすなどの理由により、令和3年9月定例会、11月定例会においても試行的に代表質問を行うこととしました。

## 自由民主党静岡市議会議員団

### 良好な生活環境を守るための条例づくり

Q 会派主催の勉強会で、いわゆるごみ屋敷や管理が不適切な状態のまま放置されている老朽家屋について、衛生上、防災上、防犯上の懸念を抱えている自治会役員の方々から、長年にわたる困難と深刻な状況について切実な意見を聞いた。こうした意見を受け、自民党市議団では、地域における良好な生活環境を守るための条例の素案を作成し、市長に提案した。そこで、良好な市民生活環境を守るための条例を1年以内に成立させる考えはあるか。

A これまでも局間連携の下、多くの事例に対応してきたが、根拠法令がなく踏み込んだ対応ができないこともある。今回の質問を機に市民が快適な生活環境を確保できるような、条例制定に向け速やかにプロジェクトチームを立ち上げ検討を進める。具体的には、不良な生活環境に係る相談内容を整理し、既存の法令等では対応できない課題の洗い出しや、先行する都市の条例を十分に調査・研究し、条例者の意見も聴きながら、4年度中を目途に、問題解決に向け実効性の高い条例制定を目指す。



丹沢 卓久 議員

市長の政治姿勢 ・桜ヶ丘病院の移転  
大浜公園再整備事業 など

## 創生静岡

### 市主催による住民説明会の開催意向

Q 桜ヶ丘病院の移転・新築問題が長期化する中、基本協定書で定めた病院の移転先について市民は厳しい目に向けている。特に、現状に対する市の説明がないとの声が多く上がっているが、移転する理由や移転先のメリット、将来性や病院を含めたまちづくり構想などについて、市として説明会を開催する考えはあるか。

A 説明会を開催する考えはない。ただし、この問題については丁寧な説明を心がけており、議会答弁や定例会記者会見、広報紙などで説明してきた。また、市が市民とJCHOとの橋渡し役



栗田 裕之 議員

第3次静岡市総合計画 ・清水病院  
道の駅構想 など

## 志政会

### 小学校高学年教科担任制の現状と今後

Q 国は、外国語の他に理科・算数・体育等でも小学校高学年における教科担任制の導入を推進しようとしている。本市では英語の専科指導を進めているが、国の動きを踏まえて、現状と今後についてどのように考えているか。

A 教科担任制は、専門性の高い教科指導を行うとともに、教員の授業時間数の軽減にもつながる重要な施策である。現在、静岡型小中一貫教育のねらいであるグローバル人材育成につながる英語力の向上に向け、小学校の外国語の授業で専科教員による教科担任制を進めたい。



小山 悟 議員

新型コロナ関連対策 ・教育課題  
救急医療体制 など

## 公明党静岡市議会

### SDGsの取組と目指す姿

Q アジア唯一のSDGsハブ都市である本市はSDGsの啓発に特に力を入れ、他都市と比較してもその認知度が高いが、これまでの取組と評価はどうか。また、4次総ではどのような取組が加えて、本市として2030年の取組の目指す姿をどう考えるか。

A これまで「TGCレゾナンス」や様々な団体と連携したイベント開催など普及啓発に取り組んだ結果、令和3年3月のSDGsの市民認知度は、全国平均より20%以上高い66%となった。また、本市独自のSDGs宣言事業により、事業者同士の連携が生まれるなど、これまでの取組に手ごたえを感じている。4次総では、計画の策定段階からSDGsを組み込み、達成度を世界基準の指標で評価し、国内外へ情報発信していきたい。2030年の本市の目指す姿は、安全安心な社会環境のもと市民一人ひとりが輝き、かつ、地域資源を磨き輝かせ、世界中から人が集まってくる活力あるまちである。SDGsのゴール17の「パートナーシップ」を重視し、公民連携で実現を目指す。



井上 智仁 議員

財政の健全化 ・コロナウイルス感染症対策  
コロナ禍における職員の意識 など

## 日本共産党静岡市議会議員団

### 人口維持目標の総括とこれから

Q 3次総の人口目標として、2025年に総人口70万人維持を掲げてきたが、達成不可の要因は何か。4次総では人口維持目標をどう考え、何に重点的に取り組むか。また3次総の70万人維持目標を撤回し、5大構想を見直す考えはあるか。

A 3次総では総人口70万人維持という高い目標を設定し、世界に輝く静岡の実現に邁進してきたが、少子高齢化による自然減や東京一極集中などにより、令和2年度勢調査では50年ぶり人口70万人を下回った。中長期的に人口減少は避けられないことから、4次総では人口活力維持のため、定住人口に加え、交流人口や関係人口にも着目し、観光による交流人口の増加やワーケーションの手法での関係人口の増加に資する施策を位置づけていく。また、3次総においては、移住支援センター設置などにより、課題であった社会減は改善されつつあり、将来推計人口の令和2年の値を国勢調査の結果を上回った。これは高い人口目標に取り組んできたからこそである。残り期間もこの目標のもと取組を継続していく。



寺尾 昭 議員

3回目のワクチン接種 ・新型コロナウイルス感染症に向けて  
など

## 語句説明

### 基本協定書

令和2年12月21日に静岡市とJCHOが、新病院の移転地や規模、着工や開院の時期など、移転に関して必要となる基本的事項を定めることを目的として締結した、「独立行政法人地域医療機能推進機構桜ヶ丘病院の移転に関する独立行政法人地域医療機能推進機構と静岡市との基本協定書」のこと。

### 静岡型小中一貫教育

小学校と中学校が、地域・保護者と「目指す子どもの姿」を共有し、9年間連続して学べる地域の特色ある教育を通して、地域と連携して『たくましく しなやかな子どもたち』の実現を目指す取組。

### グローバル人材

世界的な規模で考えて、身近なところから行動することができる人材。

### 小学校の外国語の授業

2年度から全面実施の小学校学習指導要領により、小学校高学年の外国語の教科化や、小学校中学年での外国語活動が行われている。(静岡市を含むほとんどの自治体が外国語の授業に英語を採用している。)

### 新学習指導要領

全国どの地域でも一定水準の教育を受けられるようにするため、学校教育法に基づき、各学校で教育課程(カリキュラム)を編成する際の基準として示されたもの。新学習指導要領は小学校では2年度から、中学校では3年度から全面実施している。

### TGC

「TOKYO GIRLS COLLECTION」の略。女性活躍を推進し、世界に日本のカルチャーを発信している大型ファッションイベント。静岡市では開催都市で唯一「SDGs推進」を掲げ、2019年、2020年に開催された。

### 3次総 4次総

それぞれ、第3次静岡市総合計画、第4次静岡市総合計画の略称。総合計画は、長期的な視野に立つてまちづくりの方向性を示す市政運営の最も基本となる計画であり、計画期間は3次総が2015年度から2022年度、4次総はそれに続く2023年度から2030年度。



ホームページで録画映像をご覧いただけます。